



日本ゴスペル音楽協会
理事長

池末 信

1992年に公開された映画『天使にラブ・ソングを…』の世界的なヒットにより、日本でもゴスペルが広く知られるようになりました。それ以来、亀淵友香さん、ラニー・ラッカーさん、小坂忠さんをはじめとする多くのアーティストが、日本のゴスペルシーンを牽引してこられました。

ゴスペルは本来、楽譜に頼らず、目で見、耳で聴き、心で感じながら受け継がれてきた音楽です。しかし、日本ではその文化的背景の違いから、ゴスペル特有の歌唱技術を学ぶ機会が限られていました。そのような状況の中、亀淵友香さんを初代理事長として、日本ゴスペル音楽協会が設立されました。亀淵さんの志を受け継ぎ、ジョシュア佐佐木さんが、これまで理事長とし、日本におけるゴスペル音楽の普及と啓蒙に尽力してまいりました。

このたび後継として、理事長を拝命いたしました。ゴスペル音楽のさらなる発展と振興に注力してまいりますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

日本ゴスペル音楽協会では、・世界で活躍できるゴスペルアーティストの発掘、・ゴスペルディレクターが学べる環境の提供、・グループ同士のつながり等を促進することにより、ゴスペル文化のさらなる発展に資することを目的としております。

日本でのゴスペルブームから約30年以上が経ち、ブームとしての熱は落ち着いたものの、今なお多くのゴスペル愛好家が存在し、その魅力は広がり続けています。ゴスペルは、ブルースと共にポピュラーミュージックのルーツとされ、自由な表現、高い技術、そして共に歌う喜びが、現代の日本人の心にも響いているのではないかと感じています。

本場・北米では、伝統的な技法を守りながら、新たな表現を模索し、より高いクオリティの賛美を追求し続けています。そのため、優れたアーティストや指導者の発掘・育成を目的としたゴスペルコンテストが毎年開催されています。しかし、日本ではこれまで本格的なコンテストの継続開催がほとんどありませんでした。

そこで私たちは、ゴスペルミュージックの裾野を広げるため、アーティストの発掘、指導者の育成、技術の向上、そして学び合う場として、ゴスペル音楽祭コンペティションを毎年開催してきました。今回、第7回日本ゴスペル音楽祭では、コンペティションではなく、演奏者や指導者の技術向上のために学ぶ機会を提供いたします。

105歳で天国に凱旋された日野原重明先生は、「本物とは"かぎりなく区別がないもの"」と定義されました。本物の音楽は、宗教や国籍、世代を超えて人々の心に響きます。私たちは、より本物のゴスペルを目指し、共に学ぶことで、『分断へのプレーキ』『平和への第一歩』となることを願っています。

希望と光を分かち合う場として、皆様とともにゴスペルを楽しみ、成長できることを心から楽しみにしています。

メッセージ



湯川 れい子

- ◆音楽評論家
- ◆作詞家

ゴスペルは"福音の歌"、つまり「良い知らせを運んでくる歌」です。

最初は確かにアメリカのキリスト教社会、それも南部の黒人社会から生まれたものであり、今も厳格にそのしきたりと教えの中で歌われている世界もありますけれど、最近のヨーロッパや日本では、宗教に関係なく音楽のフォーム、楽曲の進行や編曲の形として、好んでゴスペルを歌う人たちが増えています。

音楽は本来が"元気の源"ですから、これはとてもよいことだと思っています。そのうちに、世界的なゴスペル大会に出場して優勝するようなグループも日本から出てくるかもしれませんし、日本でそんな

なインターナショナル・ゴスペル・コンペティションを行う日も夢ではないかもしれません。

池末信さんは、私が知る限り亀淵友香さんや、牧師さんでもある小坂忠さんと共に、もともと古くから本格的なゴスペルを歌い、指導してきた音楽家で、アメリカでも通用するポップでフレキシビリティを持った、ゴスペル・グループのリーダーとしてはトップクラスの人です。

聞いて楽しく、歌って楽しく、教えて貰って最高の人!

実は私が率いるグループ(東京女性合唱団)も、いざという時には池末信先生の指導なしでは、とても自信を持って歌えないという経験を何回もしていることを告白しましょう。是非この機会に、ゴスペルを自分の物にしてコンサートにも参加して下さい。

聞いて、歌って、覚えて、さあ皆で元気で幸せにならしましょう!



ミッキー 吉野

GODIEGOバンドリーダー

JAZZも、BLUESも、ROCKも、GOSPELから始まった!!!

今、新しい魂の声が聞こえる……

リチャード・ハートリー、池末信、そしてThe SOUL MATICSが、本物のGOSPELを運んで行く!!!

人生は閃き、音楽は感動!!!



久米 小百合

- ◆元 久保田 早紀
- ◆特定非営利活動法人 LOVE EAST創設者・理事

GOSPELというと日本では先ず音楽をイメージされると思いますが、ゴスペル音楽のメロディーに乗って歌われ時に叫ばれるメッセージこそが本来の「ゴスペル・福音」、そうグッドニュースです。そのグッドニュースを被災地にもお届けできないか、大きな支援はできなくとも、ひとりがひとりに、一步一步寄り添うような手助けができないかと、そんな思いで2011年の3月、東北大地震の時にLOVE EASTの活動はスタート致しました。まだ復興には程遠い瓦礫の山、陥没した道なき道を手探りで、大型ダンプを走らせ支援物資を幾度も運んでくれたのはゴスペル音楽院の生徒たちでした。

バイブルで語られている『人にしてもらいたいと思うことは人にもしてあげなさい』『喜ぶものと共によろこび泣くものと共に泣きなさい』、まさしくこのゴスペルのスピリットが私たちを東北へ、そして昨年以降は能登の被災地へと背中を押してくれているように思います。誰とでも分け隔てなく出会い、語り、一緒に食卓を囲んだキリストのように生きられたら……そんな思いで活動が続けています。ゴスペル音楽を真剣に学ぶ方々が、そのスピリットを全国に拡散していくことを期待しています。

LOVE EASTへのご支援とご協力も今後ともよろしくお願いいたします。



渡辺 敦子

- ◆プリンセスプリンセスリーダー
- ◆梅田ゴスペルフェスティバル審査員

30年程前になりますが、自身のバンドプリンセスプリンセス解散直後、音楽専門学校現TSMを見学した当時、ゴスペルを歌い指導し指揮をする、ある男性の姿がとても印象に残りました。ゴスペルクワイヤーや演奏に感動し、自分の経験のないジャンルの音楽の素晴らしさを実感しました。音楽に夢を持ち、志す学生達の力になりたい。心動かされ次へのキャリアに繋がれたのは、池末信氏の存在があったからだと思います。

池末信氏率いるThe SOUL MATICS!!!

これからも素晴らしいゴスペルと共に私は都度、感動共感していきたいなと思っています!

音楽は年齢、性別、国籍を超えて共有できる。

ジャンルも多様化していく中でゴスペルは人の心に笑顔を、元気をもたらしてくれることに間違いのないです。